

湯崎知事と「ひろしまの未来を語る」の開催状況について

令和 3 年 5 月 19 日
経営企画チーム

1 要旨・目的

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の意見交換会である「ひろしまの未来を語る」の開催状況を報告する。

2 現状・背景

本県では、これからの中長期の目指す姿と、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」を策定した。その目指す姿を県民の皆様と共有して、一緒に新たな広島県づくりを進めていくため、湯崎知事が県内各市町を訪問して、県民の皆様と直接語り合う意見交換会を順次開催しており、これまでに 8 市 1 町で実施した。

3 事業概要

(1) 実施概要

区分	内容
参加者	広島県や地域の未来について語り合いたい方 広島県知事 湯崎 英彦 開催地の各市町長
次第	① 知事が語る「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」 ② 参加者による意見交換
動画配信	YouTube でライブ配信（ライブ配信終了後は県ホームページに掲載）

(2) 主な意見

裏面のとおり

4 関連情報

広島県ホームページ (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/230/visionmeeting.html>)

YouTube チャンネル「湯崎知事と語る」

(<https://youtube.com/channel/UCyqvaSVoKDLHO7V6fOamuEA>)

(主な意見)

開催市町	内容
《第1回》 三次市 令和2年11月26日	○観光振興には官民が一貫して取り組むことが大事であり、ITを活用して民間の力で引っ張り、行政が補助する姿勢が必要である。 ○耕作放棄地を価値ある資産として捉えて取り組んでほしい。 ○河川の氾濫を減少させるため、三次に多数あるため池の貯水能力を活用することを共に考えていきたい。
《第2回》 竹原市 令和2年11月30日	○竹原高校野球部など、スポーツを通して地域活性化に取り組みたい。 ○グローバル社会へ移りゆく中、教育ではグローバルな人材の育成に取り組むことが必要ではないか。 ○平和の推進に当たっては、原爆はもちろん、大久野島の毒ガス製造の歴史を伝承していくことも大事である。
《第3回》 安芸高田市 令和2年12月1日	○住民が地域の課題解決に取り組み、市政、行政と関わることができる仕組みを作ってほしい。 ○神楽をPRするとともに、神楽を文化として守る取組をしてほしい。 ○県産品販売促進のため、ブランド化等バックアップをしてほしい。
《第4回》 府中市 令和3年3月22日	○移住者を呼び込む施策を実施し、移住者目線で府中市の素晴らしいしさを発信することで、まちの活性化につなげたい。 ○人口流出を食い止めるために、保育の充実など、子育て世代や若い世代が魅力的だと感じるまちになってほしい。
《第5回》 大竹市 令和3年4月9日	○日頃から防災・減災に対する意識を市民が持ち続ける仕組みが重要。 ○持続可能なまちづくりには、地域課題を若い世代が自ら考えて、行動することが重要であり、行政はその取組をバックアップしてほしい。 ○核家族が当然のようになった現代において、見守りシステムの構築が子育て世代の脱孤立感、脱孤独感につながっていく。
《第6回》 三原市 令和3年4月14日	○高齢者をはじめ地域の方々が集まって活動できる場所を作り、そこに行くためのデマンド交通を充実してほしい。 ○高齢化や人材不足などの課題を抱える商店街を活性化させたい。 ○三原市は陸海空の交通の利便性、住環境の利便性など「ちょうどいい町」だと思うので、もっとPRして、移住促進につなげてほしい。
《第7回》 廿日市市 令和3年4月19日	○災害に強いまち作りと豊かな森の再生を並行して取り組んでほしい。 ○子育て中の女性のつながりを増やせるコミュニティ作りを進め、子育てによる孤独を軽減できる仕組みを考えていきたい。 ○教育分野において、特にDXを推進することで、過去の慣例に捉われない新たな時代と価値観を生み出すことを期待している。
《第8回》 熊野町 令和3年4月21日	○様々な施策の有益な情報を、必要な人にピンポイントで届けてほしい。 ○子供や孫たちの世代が、生まれ育ったまちに帰りたくなるまちづくりを進めてほしい。 ○寄ってみたくなるまち、地産地消による地域経済の健全な循環、地域の特性を生かした持続可能な地域社会を目指していきたい。
《第9回》 尾道市 令和3年4月26日	○ひろしまブランドの強化について、オンラインの素材を磨き上げ、発信することがブランド力の向上につながる。 ○観光開発は、周辺府県と連携し、広いエリアでの魅力拡大と周遊ルートの改善が必要である。 ○雇用等における多様な人材の受入れに積極的に取り組んでほしい。